

令和6年度 第4回

8月 倫理・利益相反委員会 会議記録概要

日 時：	令和6年8月26日（月） 15:00～15:30
場 所：	第1診療棟6F 特別会議室
出席者：	委員長 加知輝彦 副委員長 伊藤健吾 委 員 服部一郎、福田昌子、村上健次、篠崎恵美子、平岩勝、渡辺真俊、 瀬瀬伸子
出席委員数/全委員数：	9人/12人
審議事項	申請課題数：新規申請課題 1件
その他審議事項は特になし	

申請課題について

No. 1	受付番号：1830 課 題 名：高齢者・要介護者の自由意思を尊重した外出支援サービスの実施可能性および心身機能に及ぼす効果の検討 申 請 者：大高 恵莉 審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。 倫理審査結果：条件付き承認（修正内容の確認をもって承認とする。） 〈条件〉 1. 主要評価項目以外の取得情報を、副次評価項目と背景項目に分け、副次評価項目についてはどのように解析するのかを、研究計画書に記載してください。 2. アンケートなどに要する時間も負担ですので、おおよそで構いませんので研究計画書や説明書に追記してください。 3. 外出前アンケート（ご本人向け）で、「【例】AEON」と「（商業施設・公
-------	---

	共施設)」の順番を入れ替えてください。続く3つも同様です。「(娯楽)」は1つにまとめて「【例】竹島水族館、〇〇足湯」に修正してください。 4. 本研究は単施設研究であり、データの解析や調査用紙の回収を長寿で行うのであれば、申請書>「7.」>「・予定登録数」で、当センターにおける予定として150ではないでしょうか。 5. 研究計画書>「4-3」>「<外出後調査項目>」については、本人、家族、介護職員に分けて記載があり、理解しやすいですが、「<外出前調査項目>」と「<外出前日～当日の取得項目>」にはこの棲み分けがありません。高齢者、要介護者ご本人のみであれば、それが判るように記載してください。 6. 説明書(施設職員さま向け)>「6.」と「9.」は施設利用者用のものと同じ記載ですが、例えば施設職員がスマートウォッチをつけることはないかと思いますが、リスク等の説明は必要なのでしょうか。また、説明書(施設職員さま向け)については、施設職員用の説明文章になるよう全体を修正してください。 7. 説明書(施設職員さま向け)>「6.」で、研究の方法の記載があるので、「4.」に移動してください。また、「4.」には、説明書(施設利用者さま・ご家族さま向け)>「4.」にある写真を追加してください。 8. 研究計画書>「4-2」で、家族や施設職員の人数は、1回あたりどのくらいを見込まれているのか、追記してください。 9. 説明書(施設利用者さま・ご家族さま向け)>「12.」で、「経済的負担や謝金が発生することはありません」との記載があります。買い物等をされたらその費用や交通費は自己負担であることを追記してください。 利益相反審査結果：該当で承認
--	---